

当社の技術の変遷

—会社創立50周年を迎えて—

当社は、2012年8月に創立50周年を迎えます。
先人の方々が築いたものを次の50年に繋いでいけるよう、
全社員が気持ちを新たにこれからも一層精進に努めてまいります。

コンピュータの存在が社会的な認知を得て、普及が始まりつつあった1962年(昭和37年)に、「ビジネス分野のオートメーション化」というコンセプトを持って、東芝、フジテレビなどの出資により「旧社名:日本ビジネスオートメーション」(略称:JBA)が設立されました。設立当初は、事務計算と技術計算の受託計算サービスが中心でしたが、1964年にテレビ番組自動送出システム(APC)を構築するなど、次第にソフトウェア開発が事業の柱になっていきました。

その後、東芝との関係を強化していく中で、放送、新聞、宇宙、鉄道、電力、医用などさまざまな分野のソフトウェア開発に取り組んできました。

1980年代になって、パーソナルコンピュータ(PC)の普及が進んだことにより、UCSD Pascal、JSP COBOLをはじめとしたパッケージ販売にも注力するようになりました。

1991年に、関連6社を統合し、現在の東芝情報システムに社名変更しました。この頃には、PC-NFS、Netscape Navigatorなど、世の中の時流に乗った大ヒット商品も生まれました。電子商取引が新規ビジネスとして注目されてきた2000年には、Dynamic Trade Center Systemを開発し、販売を開始しました。

近年は、Flash Player、NetNucleus WPA/WPSなどをはじめとした組み込み向け製品にも力を入れて、SIとエンベデッドの2つの事業を展開してきました。

50年の主なトピックス

1964年

放送業界の自動化の先駆け、APC

フジテレビの運用技術と東芝のハードウェア技術、当社のシステムおよびソフトウェア技術を加え、「テレビ番組自動送出システム(APC)」を構築しました。この成果は、1964年のTOSBAC-3300による関西テレビへのAPCの第1号機納入として結実、APCはテレビ放送業界の自動化に先駆的役割を果たしています。

1980~81年

UCSD Pascal、JSP COBOLなど海外製品の取り扱いを開始

自社開発の商品販売に加え、拡大してきたPCの普及に対応するため、海外で高い評価を得ている製品の輸入販売を開始。1980年に米SofTech Microsystems社からUCSD Pascal、英Michael

Jackson社からJSP COBOLのそれぞれ国内販売・メンテナンス権利を取得しました。UCSD Pascalは、数多くの大手・中堅のPCメーカーとライセンス契約を結び、販売わずか3カ月でサブライセンス契約7社、オブジェクトコード販売274本の実績を上げています。

1989年

3年で15,000本超のヒット商品「JAQSYS PC-NFS」

米サン・マイクロシステムズ社が開発したPC用ネットワークファイルシステムのソースライセンスを取得、J-3100向けに日本語化したJAQSYS PC-NFSの販売を開始しました。発売半年後には1,000本出荷記念パーティを開催、半年経たぬうちにさらに2,000本出荷するなど、好調な売れ行きを見せました。



1995年

ISPビジネスにも着手「Netscape Navigator」

インターネットサービスプロバイダ(ISP)ビジネスへの着手に際して、当社はこれを既存事業革新の起爆剤や当社の広告塔として位置づけました。このISPビジネスでは、アウトソーシング時代の先駆けとして他社設備の積極的活用も検討され、フランチャイズ制も導入。お客様へのサービス提供の一環としてコンシューマ製品の「Netscape Navigator」を発売しました。



2000年

eビジネス化に向けた電子市場取引システム

当社は、商品カタログの充実、調達のワークフローや受発注業務機能を搭載したインターネットによる特定業者との売買を行うシステムを開発していましたが、デジタルネットワーク分野においては、企業間向け電子市場取引システムパッケージ「DYNAMIC TRADE CENTER SYSTEM」を開発・販売しました。この種の本格的なシステムパッケージとしては国産初のものであり、このパッケージを利用した電子商取引市場形成ビジネスに参画するなどの試みも開始しました。

2003年

組込み機器向けGUI作成ツールを販売

PCでは標準装備されているMacromedia Flash Playerを組込み機器に搭載することによって組込み機器操作画面のリッチ化への要求の高まりに対応しました。当社は、標準Flash Playerとの互換性を証明する認証テストの実施、ランタイムライセンス販売などを行っています。

2004年

組込み機器を誰でも容易にセキュアに

2004年春にはRSAセキュリティ社とのアライアンスを締結、当社の無線LANセキュリティ技術との融合により、無線LANセキュリティ標準、WPA/WPA2を実現したIP製品、「NetNucleus WPA」を開発・販売。また、セキュリティ設定の煩雑さを解消する「NetNucleus WPS」も開発しています。

1962年

(昭和37年)

- 「テレビ番組自動送出システム(APC)」を構築して関西テレビへ納入(1964年)
- 大阪市交通局向け「自動列車運行制御システム(ATC)」の開発を東芝府中工場から受注(1965年)
- 印刷物を拡大するための「多色拡大装置(NECOM)」の開発をフジテレビから受注(1965年)
- 大阪万国博覧会に向けた建設管理に要するPERTシステム(工程管理システム)の開発を電通から受注(1967年)



多色拡大装置(NECOM)

1972年

(昭和47年)

- 毎日新聞の原稿を集配信するネットワークシステムを開発(1973年)
- 実験用中型放送衛星のプログラム開発を東芝から受注(1974年)
- 民放テレビ局の「CM BANK システム」を開発(1977)
- UCSD Pascalのパッケージを販売(1980年)
- JSP COBOLのパッケージを販売(1981年)

1982年

(昭和57年)

- UX-300向けCODASYL型データベースパッケージ(DB/UX)、COBOLコンパイラの画面作成用パッケージ(SCENE)を販売(1983年)
- 機械系CADパッケージM-CAD/Pを開発、販売(1983年)
- 日本語ワードプロセッサRupoの関連商品を販売(1985年)
- 人工知能(AI)分野の研究を開始、AI分野の事業化に向けて経営分析支援システムを試作(1986年)
- PC版ネットワークファイルシステム「PC-NFS(商品名:JAQSYS)」を販売(1989年)
- パソコン版上流CASEツール「Popkin」を販売(1990年)



Rupo

1992年

(平成4年)

- リアルタイムオペレーティングシステム「UDEOS」を開発、販売(1992年)
- Netscape Navigatorを販売(1995年)
- インターネットプロバイダ「infoPepper」のサービスを開始(1996年)
- PHSの通信プロトコルを開発、販売(1996年)
- コールセンター向けシステム「ARS(Action Request System)」のパッケージを販売(1997年)
- コンパイラ型のJavaエンジン「JexeOS」を開発、Java推進協議会から努力賞を受賞(1997年)
- 分散型制御用ネットワーク「LON(Local Operating Network)」のノード開発を多数受注(2000年)
- 企業間向け電子市場取引システムパッケージ「DYNAMIC TRADE CENTER SYSTEM」を開発、販売(2000年)



infoPepper

2002年

(平成14年)

- 高位設計を導入してSystemC/C言語によるシステム設計/検証サービスの提供を開始(2002年)
- 段ボール生産管理システム「Copatis」を開発(2003年)
- 組込み向けGUIツール「Macromedia Flash Player」のライセンスを販売(2003年)
- 組込み向け無線LANセキュリティ「NetNucleus WPA/WPS」を開発、販売(2004年)
- 健康管理システム(Asociado III)を販売(2005年)
- リアルタイムシミュレータ「M-RADSHIPS」を製品化(2006年)
- 文書を共有・交換管理する「easyCollaboration」を開発、販売(2007年)
- 次世代ユーザインタフェース「AirSwing」を開発(2009年)
- 次世代バックアップソリューション「VITA Owl」の提供を開始(2011年)



M-RADSHIPS